

～コミュニケーション能力の育成を！～

令和8年8月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人



子供司書養成講座
(絵本の紹介)

雲の峰いくつ崩れて月の山 (松尾芭蕉)

子供たちの活躍を紹介します。2つです。

1つ目は、7月18日(土)に「子供司書」養成講座全体研修を行ったことです。本年度は、読書好きな小学生19人が認証に向けてチャレンジします。会が始まる前から、自分が持って来ていた本を黙読している子や周りの友達と本の話をしている子など、意欲あふれる態度が見られました。これから約半年間、図書館などで実習を重ね、読書活動を推進するリーダーとして成長することを願っています。

2つ目は、7月28日(火)小学生水泳記録会を行ったことです。各小学校から63人が出場し、友達からの応援を背に受け、自己新記録をめざして力泳しました。残念ながら大会新記録は出ませんでした。記録を大幅に縮める選手もあり、これまで練習してきた成果を存分に発揮しました。最後の種目は、子供選抜3チームと教員チームの対抗リレーを行いました。子供チームの健闘及ばず教員チームが勝ちました。この記録会に出場したことを契機に、もっと水泳を好きになり、もっと長く速く泳げるようになることを期待しています。

さて、今回は「コミュニケーション能力を育むこと」についてです。

文部科学省では、この力を「対話を通して互いを理解し、考えを深め、協働して課題を解決する力」と位置づけています。単に話す・聞くといった技能ではなく、相手の思いを受け止め、自分の考えを整理して伝え、共によりよい解(答え)を探していく力です。

各学校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを中心に、学校行事や地域と連携した取り組みなど、あらゆる教育活動を通してコミュニケーション能力を育んでいます。いくつか具体例を紹介します。

- ① 言語活動を中心に「伝え合う力」を育む。
 - ・説明・意見交換・要約などの「話す・聞く」活動。
 - ・友達の発言を受けて自らの考えを再構築する活動。
 - ・書くことを通して考えを整理する活動。……など。
- ② 対話的な学びの実践の中で育む。
 - ・自分の考えと友達との考えを比較する活動。
 - ・目標に迫るための話し合い活動。
 - ・多様な意見を大切にしながら合意形成するプロセスを経験する活動。
 - ・地域課題をテーマにした探究活動。……など。

子供たちが、地域の温かさや多くの語り合える友達がいる中で、お互いを認め合い、切磋琢磨しながら、コミュニケーション能力を育む取り組みを推進します。

※ 次ページ：7月の活動等の中から、一部写真で紹介します。

令和8年 7月 : 活動など ちょっと紹介



7月1日(水) ピアノ受納式 (みどりしんきんホール)
瀬藤美紗子様ご夫妻より グランドピアノ寄贈



7月3日(金) 学校訪問 (東城小)
学校図書館研修会 (兼) 学校司書研修会



7月8日(水) 学校訪問 (板橋小) 校長会 授業参観・協議会



7月13日(月) 学校訪問 (東小) 教頭・事務長会 授業参観・協議会



7月16日(木) 学校訪問 (庄原小)
県教育委員会 蓮浦頭達参与ほか4人 授業参観・協議会



7月16日(木)
第14回新県美展鑑賞

7月18日(土)
子供司書養成講座



7月19日(日)
第36回スポーツフェスティバル総合開会式



7月21日(火) 全国大会等出場者壮行式



7月28日(火) 第61回庄原市少年少女水泳記録会



7月29日(水)
アブラゼミ (三日市町)



7月30日(木)
令和8年度 第2回情報教育研修会



7月31日(金) 夏期巡回 ラジオ体操・みんなの体操会
約630人参加 (上野総合公園陸上競技場)